

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区木場2-3-4
電話・編集 ☎03-3620-3500
FAX03-3620-3519
読者サービス ☎03-3620-3511
FAX03-3620-3518
http://www.n-mokuzai.com/
e-mail: info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円

©日刊木材新聞社 2017
本誌の複製・複製(コピー)・転載等は、著作権の侵害に当たり得ます。

木が拓く
新たな未来
木質建材ワイワリー
Japan Lumber Reports

東京・国分寺駅前に 木質ハイブリッドで7階建てビル上棟



ノンブラケット工法を採用、木質ハイブリッド集成材(鋼材内蔵型)とS造を平面で使い分けられるようになった

このビルはアロマオイルなどを製造・販売するフレーパーライフ社の本社ビルとして計画された。4社による設計選案から選定され、国土交通省のサス

耐火性能検証し、用途拡大

木質ハイブリッド構法による7階建てビル(構造はS造)が東京・国分寺駅前に上棟した。「木造でビルを建てたい」という業主の要望に木質ハイブリッド集成材がマッチし、木質感ある仕上げとS造による安心感が評価された。(久原裕スタジオ・クラ・ヤギ代表取締役)と話している。

テナブル建築等先導事業に採択、木質ハイブリッド集成材(鋼材内蔵型)・日本集成材工業協同組合の1時間耐火構造の大臣認定)を使用した建築の普及に向けて工夫を行った。

まず、構造はすべてS造とした。柱は1〜7階まで同寸で、1〜3階は2時間耐火のため柱の鉄骨をクラスワールで被覆した。日集協の大臣認定では同一階はすべて同じ構造とする条件となっているが、耐火性能検証試験を行い、実証的に必要な部位のみ木質ハイブリッド集成材を採用できるようにになった。S

階までは2時間耐火の集成材は、鋼材を境玉のため4階の床スラブを150mm厚にするなど上階の温度上昇を抑える工夫をしている。

木質ハイブリッド集成材の柱・梁の接合部は鋼材製作用を簡略化するため、これまでは柱から梁が1寸くらい出で、そこで接合する形式だったが、ノンブラケット工法で柱・梁の接合部にロックワール耐火被覆材を巻き、集成材30mm厚で耐火被覆する工法を採用した。

普及型の木質ハイブリッド集成材開発のために設計集団一般建築士事務所やチーム・ティンパライズらと、住友林業筑波研究所で耐火性能検証を行った。木質ハイブリッド

集成材は、鋼材を境玉の工場加工した後、中東へ持ちこち、長野と北海道のカラ松ラミオを使用し、中東で製造した。ノンブラケット工法を採用したことで柱からの突起がなく、運搬効率を高めることができた。

木質ハイブリッド集成材は70立方メートルを使用。そのほか地域とのつながりを重視し、213階部分のルーバーに多摩産材(杉)を約5立方メートル使用する。外部での使用となるため新開発の高断熱性能形「S1100」(日信化学工業)を塗装する。施工は住友林業が担当。狭小地のため、建て方で柱の出入りや、水・火花対策の養生などを工夫しながら行った。敷地面積は180・80平方メートル、建築面積103・52平方メートル、延べ床面積606・31平方メートル、7階建て、建築設計はスタジオ・クラ・ヤギ+チーム・ティンパライズ、構造設計はKAP、設備設計は安藤・間、防・耐火

信用を商う木材総合問屋

株式会社 ダイワコム

本社 東京都千代田区千代田三ノ木二丁目1番10号
電話 ☎03-3222-2222(24時間)
埼玉本店 埼玉県草加市草加七丁目7番10号
電話 ☎049-298-0000(24時間)

FSC 責任調達
SGE 安心の品質

集成材

お問い合わせ下さい

販売材木店
広島県尾道市
上尾橋
高尾橋
受け先を指定
問い合わせ先

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0830 千葉県本安津市湊浜2-1-53
TEL 0438-37-0200 FAX 0438-37-2349
ホームページ http://www.tyusei-tsc.com

設計は設計集団一般建築士事務所、今年7月に竣工する予定だ。「木質ハイブリッド集成材は都市部や地方の駅前などで需要が見込まれる。ぜひ2時間耐火認定取得にも取り組んでほしい」と久原氏は話している。